



常設展「農村の四季」「川と人のかかわり」「地域のものづくり」「昔の暮らし」

# 奈良県立民俗博物館・大和民俗公園

- \* 桜(8種580本)・・・3~4月
  - \* 花しょうぶ(80~90種1400株)・・・5~6月
  - \* 梅(3種140本)・・・2~3月
- ※2020年時点

大和郡山立  
里山の駅「風とんぼ」  
(野外活動センター)

- ㊦ 案内所(博物館事務所)
- 🚰 お手洗い
- ♿ 多目的(身障者用)お手洗い
- 📄 自動販売機(駐車場/博物館前)
- 🛋 休憩所
- 🏠 屋根つき休憩所



## はなごよみ 花暦

2021年4月改訂

<b>4月</b>	サクラ、ユキヤナギ、コバノミツバツツジ、キリシマツツジ	
<b>5月</b>	フジ、サツキ、パイカウツギ、オオヤマレンゲ、モチツツジ	
<b>6月</b>	花しょうぶ、アジサイ、タイサンボク、ササユリ、オオヤマレンゲ、ユリノキ	
<b>7月</b>	アペリア、サルスベリ、すいれん、キンシバイ	
<b>8月</b>	サルスベリ、ハギ、スイフヨウ、わた	
<b>9月</b>	スイフヨウ、ハギ、ひがんばん、こすもす	
<b>10月</b>	キンモクセイ、こすもす	
<b>11月</b>	モミジ、茶(チャ)	
<b>12月</b>	サザンカ、ウメ、モドキの実、クロガネモチの実	
<b>1月</b>	サザンカ、ロウバイ	
<b>2月</b>	ロウバイ、白梅、紅梅、なのはな	
<b>3月</b>	白梅、紅梅、コブシ、モクレン、ヤブツバキ	

## ご利用案内

- 開館時間**  
 博物館 午前9時~午後5時(入館は4時半まで)  
 民家 午前9時~午後4時
- 博物館観覧料**  
 ※小・中・高生、65歳以上及び障がい者(障がい者を介助する者1名を含む)は無料
- |           |      |      |
|-----------|------|------|
|           | 一般   | 大学生等 |
| 個人        | 200円 | 150円 |
| 団体(20名以上) | 150円 | 100円 |
- 公園・民家 無料**
- 休館日**  
 毎週月曜日(祝日、振替休日のときは次の平日)  
 年末年始(12月28日~1月4日)
- 交通案内**  
 近鉄郡山駅下車  
 奈良交通バス(1番のりば) → JR大和小泉駅下車 矢田東山バス停→北へ徒歩約10分  
 奈良交通バス(東口1番のりば) → 駐車場(無料) (乗用車147台、バス5台、身障者用3台)  
 駐車場利用時間 午前7時~午後6時半(6月~9月は午後7時まで)



## 町屋集落 / 旧城下町・旧寺内町・旧街道の家



### ① 旧臼井家住宅 (高取町 / 重要文化財)



酒や醤油を製造・販売していた商家。入口にかけられた杉玉は新酒ができたことを知らせる看板の役割。中庭には井戸、渡り廊下の先には手洗い、2階建ての蔵などがあります。

### ② 旧鹿沼家住宅 (大和高田市 / 県指定文化財)



代々米屋を営んでいた商家。のれんの手前が店、奥が住居。瓦葺きの屋根にはかまどの煙を外へ出すための「煙出し」があり、屋根の上に取り付けられている小屋根が特徴です。2階は物置として使われました。

## 国中集落 / 奈良盆地とその周辺の家

### ③ 旧吉川家住宅 (橿原市 / 県指定文化財)



農家の特徴がよく表れている家。かつては母屋を囲むように長屋門・納屋・米蔵・離座敷などが建てられていました。土間には精米や餅つきに使われた「唐臼」などがあります。

### ④ 旧萩原家住宅 (桜井市 / 県指定文化財)



「入母屋造り」という形の茅葺き屋根をした農家。庇には瓦も使われています。入口の脇には、「厨子二階」と呼ばれる物置用の中二階がついた牛の飼育小屋があります。

## 宇陀・東山集落 / 県の東部に位置する山間部の家

### ⑤ 旧八重川家住宅 (都祁村※ / 県指定文化財)



代々農業を営んでいた家。天井裏に「すのこ」を敷いて土が盛ってあるのは、火事が起こった時に天井が燃えるのを防ぐためです。屋根には煙出しの穴があります。(※現・奈良市)

### ⑥ 旧岩本家住宅 (室生村※ / 重要文化財)

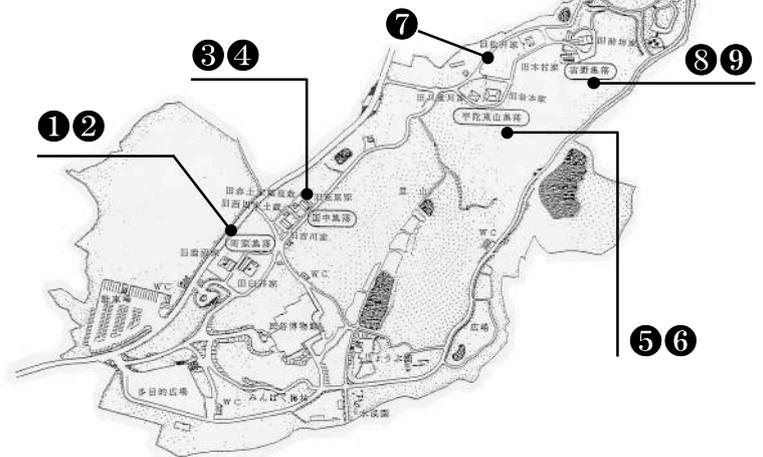


平地に比べて雪が多い地域の家で、大きな屋根が特徴。屋根裏では蚕を飼いました。かまどの上には燻製を作る「ベンケイ」(吉野では「ホデ」など)と呼ばれる道具が吊されています。(※現・宇陀市)

### ⑦ 旧松井家住宅 (室生村※ / 県指定文化財)



「広敷」と呼ばれる板敷きの場所は現在の台所にあたり、食事もここでとられていました。すのこを敷いた床は、夏の暑いときに風通しを良くする役割があります。(※現・宇陀市)



## 吉野集落 / 県の南部に位置する山地の家

### ⑧ 旧木村家住宅 (十津川村 / 県指定文化財)



杉の木の皮で覆って石をのせた屋根は、この地域ならではの特徴のひとつ。屋根には雨よけの板も取り付けられています。母屋の向かいは、牛小屋と手洗いに分かれています。調理は囲炉裏でおこなわれました。

### ⑨ 旧前坊家住宅 (吉野町 / 県指定文化財)



吉野山にある金峯山寺の門前町の家。参拝者を泊める宿の役割もありました。母屋と離座敷は渡り廊下でつながり、山の斜面に沿って建てる「吉野建て」という方法が使われています。